

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社グリムス

コード番号 3150 URL <http://www.gremz.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 政臣

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 阿部 嘉雄

TEL 03-5769-3500

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,055	13.5	94	734.9	96	404.0	28	—
26年3月期第2四半期	2,693	6.2	11	△47.3	19	△31.7	△3	—

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 30百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △3百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	8.04	7.94
26年3月期第2四半期	△0.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		%
27年3月期第2四半期	3,342		1,955			58.0
26年3月期	3,091		1,553			49.8

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 1,940百万円 26年3月期 1,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,592	14.0	505	81.7	500	70.8	267	73.7	76.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	3,881,800 株	26年3月期	3,493,600 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	70,622 株	26年3月期	70,622 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	3,482,375 株	26年3月期2Q	3,372,816 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。
2. 平成26年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。
3. 当社は、平成26年9月3日付で、株式会社エナリスから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期累計期間において資本金が211百万円、資本準備金が211百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が599百万円、資本準備金が337百万円となっております。詳細は、添付資料2. 四半期連結財務諸表(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府が実施する各種の経済政策による効果を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しているものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化など、不安定な要素を抱えております。

このような経済状況の中、当社グループ(当社及び当社の関係会社)は、スマートハウスプロジェクト事業において、住宅用太陽光発電システム等のエネルギー関連商品の販売や、4月より開始した再生可能エネルギーの開発、エネルギーコストソリューション事業において、電力基本料金削減コンサルティング、LED照明の販売、及び4月より開始した電力料金の削減を目的とした電力の調達改善を行う代理購入サービスなど、創エネルギー・省エネルギー・蓄エネルギーといったエネルギーに関連する様々な商品・サービスを提供し、電力自由化を見据えて積極的な事業展開を行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高3,055百万円(前年同四半期比13.5%増)、営業利益94百万円(前年同四半期比734.9%増)、経常利益96百万円(前年同四半期比404.0%増)、四半期純利益28百万円(前年同四半期は3百万円の損失)となりました。

各セグメントの業績は、以下のとおりであります。

なお、前連結会計年度において、新規事業の創出を行う事業をその他事業として区分していましたが、第1四半期連結会計期間より「インキュベーション事業」として報告セグメントに区分しております。

[スマートハウスプロジェクト事業]

スマートハウスプロジェクト事業につきましては、九州地方・中国地方での地域中核店舗となる「京セラソーラーFCイオンモール博多」を西日本最大級のショッピングモールであるイオンモール福岡に出店することで顧客基盤の拡大を図り、蓄電池の販売を推進するなど、積極的な事業展開を行ってまいりました。また、4月からは再生可能エネルギー開発事業における売電収益を計上しています。その結果、スマートハウスプロジェクト事業の売上高は1,741百万円(前年同四半期比23.5%増)、セグメント利益は124百万円(前年同四半期は26百万円の損失)となりました。

[エネルギーコストソリューション事業]

エネルギーコストソリューション事業につきましては、電力基本料金削減コンサルティングによる電子ブレーカー販売については直販・代理店販売ともに好調に推移し、LED照明の販売についても好調に推移しております。また、新たに当第2四半期連結累計期間より電力代理購入サービスの新規開拓を開始しており、受注も順調に獲得していますが、新商材の導入に伴う費用負担があることから、エネルギーコストソリューション事業の売上高は1,306百万円(前年同四半期比1.7%増)、セグメント利益は199百万円(前年同四半期比15.6%減)となりました。

なお、前第2四半期連結累計期間においてセグメント利益に含めていた持分法による投資損益については、平成26年3月31日付で持分法適用関連会社であった株式会社ネオ・コーポレーションの株式一部譲渡により持分法の適用除外となったため、セグメント利益には含まれておりません。

[インキュベーション事業]

インキュベーション事業は、新規事業を創出する事業として、昨年11月設立の株式会社グリムスベンチャーズが行っておりますが、現在の事業内容はWebサイトを利用した商品販売であります。インキュベーション事業の売上高は8百万円、セグメント損失は24百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,800百万円となり、前連結会計年度末に比べ221百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が246百万円増加したことによるものです。固定資産は539百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円増加いたしました。これは主に建物が11百万円、工具、器具及び備品が17百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は3,342百万円となり、前連結会計年度末に比べ251百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,022百万円となり、前連結会計年度末に比べ195百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が48百万円増加する一方で、短期借入金が100百万円、未払金が43百万円、未払法人税等が93百万円減少したことによるものです。固定負債は364百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が31百万円、資産除去債務が11百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は1,386百万円となり、前連結会計年度末に比べ150百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,955百万円となり、前連結会計年度末に比べ401百万円増加いたしました。これは、主に第三者割当増資により資本金が211百万円、資本剰余金が211百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月6日に公表いたしました業績予測から変更はございません。

なお、平成26年5月12日の「平成26年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,677,179	1,923,722
売掛金	518,937	463,660
商品	294,561	321,700
繰延税金資産	38,976	32,077
その他	49,502	59,645
流動資産合計	2,579,157	2,800,804
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	94,674	106,468
機械及び装置(純額)	70,000	70,351
車両運搬具(純額)	19,005	18,872
工具、器具及び備品(純額)	51,171	68,696
有形固定資産合計	234,850	264,389
無形固定資産	33,474	36,525
投資その他の資産		
投資有価証券	47,985	47,985
敷金及び保証金	158,571	167,985
その他	37,267	22,715
投資その他の資産合計	243,824	238,685
固定資産合計	512,149	539,601
繰延資産	—	2,238
資産合計	3,091,306	3,342,644
負債の部		
流動負債		
買掛金	327,829	375,883
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	350,412	332,952
未払金	293,616	250,409
未払法人税等	118,351	25,144
引当金	4,351	3,674
資産除去債務	1,237	1,534
その他	22,081	32,584
流動負債合計	1,217,878	1,022,182
固定負債		
長期借入金	300,768	332,102
資産除去債務	16,087	28,030
その他	2,651	4,586
固定負債合計	319,507	364,719
負債合計	1,537,386	1,386,901

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,680	599,249
資本剰余金	126,293	337,862
利益剰余金	1,054,799	1,031,460
自己株式	△28,382	△28,382
株主資本合計	1,540,389	1,940,188
少数株主持分	13,530	15,554
純資産合計	1,553,919	1,955,742
負債純資産合計	3,091,306	3,342,644

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,693,050	3,055,321
売上原価	1,276,996	1,492,969
売上総利益	1,416,054	1,562,351
販売費及び一般管理費	1,404,701	1,467,557
営業利益	11,353	94,794
営業外収益		
受取利息	354	356
受取手数料	1,617	3,947
解約手数料	234	1,119
訴訟損失引当金戻入額	6,000	—
持分法による投資利益	835	—
その他	1,699	709
営業外収益合計	10,740	6,132
営業外費用		
支払利息	2,438	3,266
租税公課	486	943
その他	—	111
営業外費用合計	2,924	4,321
経常利益	19,169	96,605
特別利益		
固定資産売却益	1,546	—
負ののれん発生益	368	—
特別利益合計	1,914	—
特別損失		
固定資産除却損	2,843	13,725
固定資産売却損	—	282
店舗閉鎖損失	891	6,703
補償損失	12,500	—
特別損失合計	16,235	20,711
税金等調整前四半期純利益	4,848	75,894
法人税、住民税及び事業税	22,370	24,079
法人税等調整額	△14,063	21,785
法人税等合計	8,307	45,865
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,459	30,029
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△193	2,024
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,265	28,005

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△3,459	30,029
四半期包括利益	△3,459	30,029
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,265	28,005
少数株主に係る四半期包括利益	△193	2,024

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,848	75,894
減価償却費	25,020	32,290
長期前払費用償却額	663	546
負ののれん発生益	△368	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	644	△677
訴訟損失引当金の増減額 (△は減少)	△7,300	—
受取利息	△354	△356
支払利息	2,438	3,266
持分法による投資損益 (△は益)	△835	—
補償損失	12,500	—
固定資産除売却損	3,061	14,145
店舗閉鎖損失	841	6,703
売上債権の増減額 (△は増加)	△130,863	55,276
たな卸資産の増減額 (△は増加)	38,895	△27,085
営業保証金の増減額 (△は増加)	△10,000	△1,390
未収消費税等の増減額 (△は増加)	1,444	△846
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	4,390	△8,838
仕入債務の増減額 (△は減少)	28,360	48,054
未払金の増減額 (△は減少)	52,486	213
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△19,448	29,098
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△7,674	7,705
その他	△3,205	4,103
小計	△4,452	238,105
利息の受取額	148	143
利息の支払額	△2,270	△3,187
法人税等の支払額	△53,773	△117,850
法人税等の還付額	20,754	745
補償金支払額	△12,500	—
訴訟関連費用の支払額	△24,000	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△76,093	117,956

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19,909	△121,984
無形固定資産の取得による支出	△2,085	△14,223
資産除去債務の履行による支出	△1,200	△7,457
関連会社株式の取得による支出	△3,187	—
子会社株式の取得による支出	△5,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△11,073	△21,738
敷金及び保証金の回収による収入	11,420	12,324
その他	△550	△1,764
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,586	△154,842
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	△100,000
長期借入れによる収入	—	230,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	375	—
長期借入金の返済による支出	△132,280	△216,126
株式の発行による収入	—	420,900
配当金の支払額	△50,621	△51,344
財務活動によるキャッシュ・フロー	△182,526	283,429
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△290,206	246,542
現金及び現金同等物の期首残高	1,646,436	1,677,179
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,356,229	1,923,722

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年9月3日付で、株式会社エナリスから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が211,569千円、資本準備金が211,569千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が599,249千円、資本準備金が337,862千円となっております。